日本画
洋画
書
彫塑工芸
写真

展示
2026
8.15（土）
－
8.23（日）

第75回記念

春日井市民美術展覧会











会場 春日井市役所11、12階
文化フォーラム春日井

時間 午前9時～午後4時30分
（初日のみ午前10時開場／最終日は午後3時まで）
※会期中休みなし

つくる、を日常に。

主催=春日井市、春日井市教育委員会
後援=中日新聞社
主管・問い合わせ=公益財団法人かすがい市民文化財団
TEL：0568-85-6868（月曜休館／祝休日の場合は翌平日）
www.kasugai-bunka.jp

目　次

特別賞受賞作品

市長賞…… 2
第75回記念賞…… 5
財団理事長賞…… 8
教育委員会賞……11
市議会議長賞……14
観光コンベンション協会会長賞……17
委嘱特別賞……21

受賞者、入賞者・資格者一覧

特別賞……23
奨励賞……25
高校生奨励賞……26
入選 ……26
無鑑査……30
委嘱 ……32
審査会員 ……33

審査講評 ……34

応募点数・審査結果内訳 ……38

入賞者名簿カラー版 インターネット公開のご案内

本入賞者名簿のカラー版をインターネット上で公開します。
あわせてぜひご覧ください。
令和8年 8月15日(土)から
※春日井市及び文化財団ホームページ上で公開

春日井市民美術展覧会 公式インスタグラムのご案内

ご自身の作品やお知り合いの作品を投稿し、
いいね！やコメントを送るなど是非ご活用ください。
フォロー及び「＃春日井市民美術展覧会」をつけての
ご投稿もお待ちしております。

KASUGAI_SHIMINTEN

市　長　賞



◀ 日本画
「夏の庭先」
佐　伯　茂　明

▼ 洋画
「上野ファーム」
世古口　寛　子

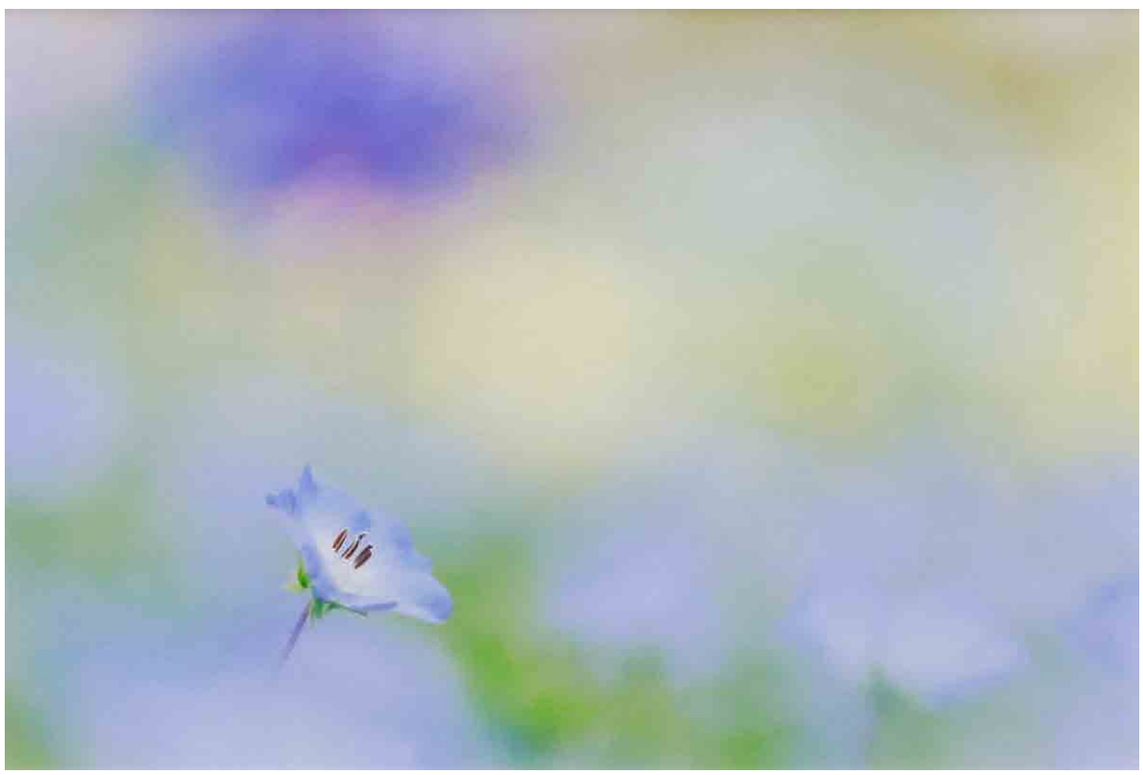




▲ 書
「無題」
加　藤　貴　咲



▲ 彫塑工芸
「幸」
土　方　佑　恭



▲ 写真
「春風に奏でる」
小　原　奈緒美

第75回記念賞



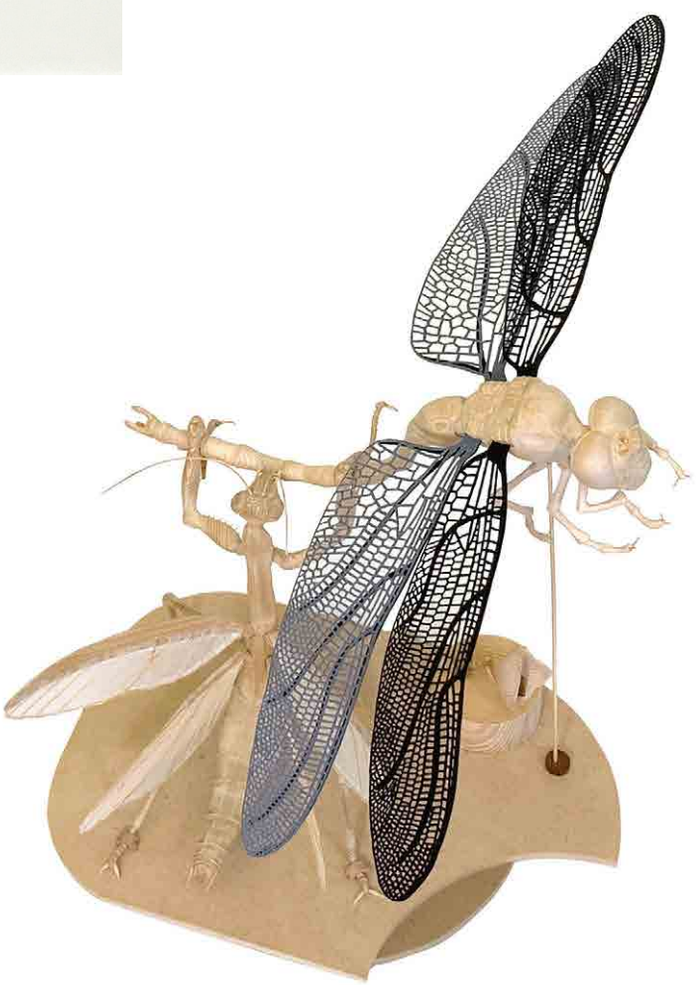
◀ 日本画
「内津の妙見さん」
猪　又　良　次



洋画　▶
「どろんこ遊びⅠ」
加　納　裕　美



▲ 書
「純樸魯鈍」
酒　井　　孝



彫塑工芸　　▶
「語彙喪失」
伊　藤　克　己



▲ 写真
「未来への砂煙」
永　田　昭　夫

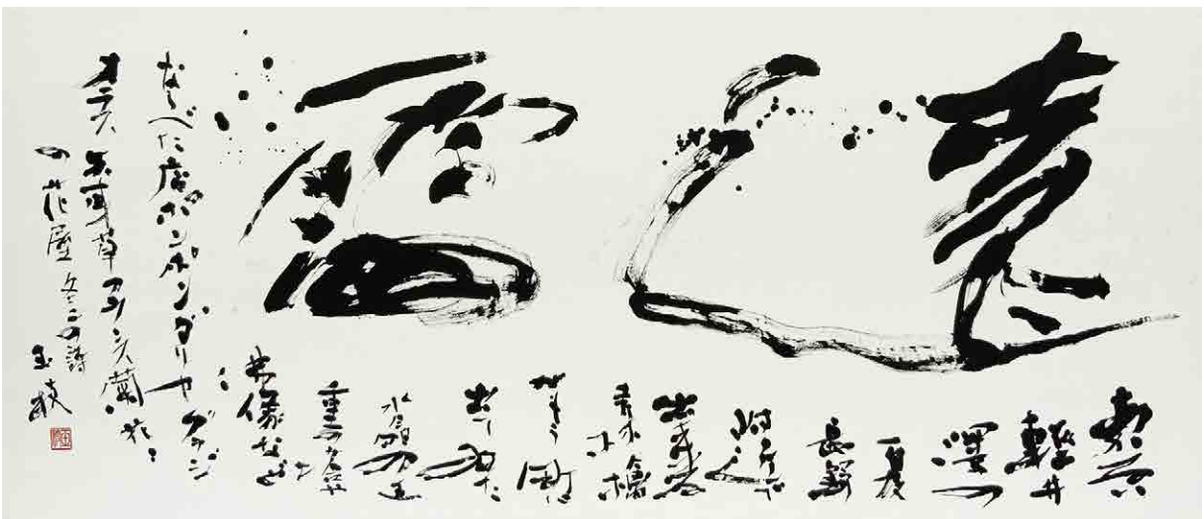
財団理事長賞



◀ 日本画
「door」
橋　本　眞知子



洋画　▶
「MESSAGE」
金　子　　哲



▲ 書
「遠雷」
吉　田　玉　枝



彫塑工芸　▶
「ぼくの宝もの」
中　山　道　子



▲ 写真
「夜明けのバラード」
雪　嶋　　大

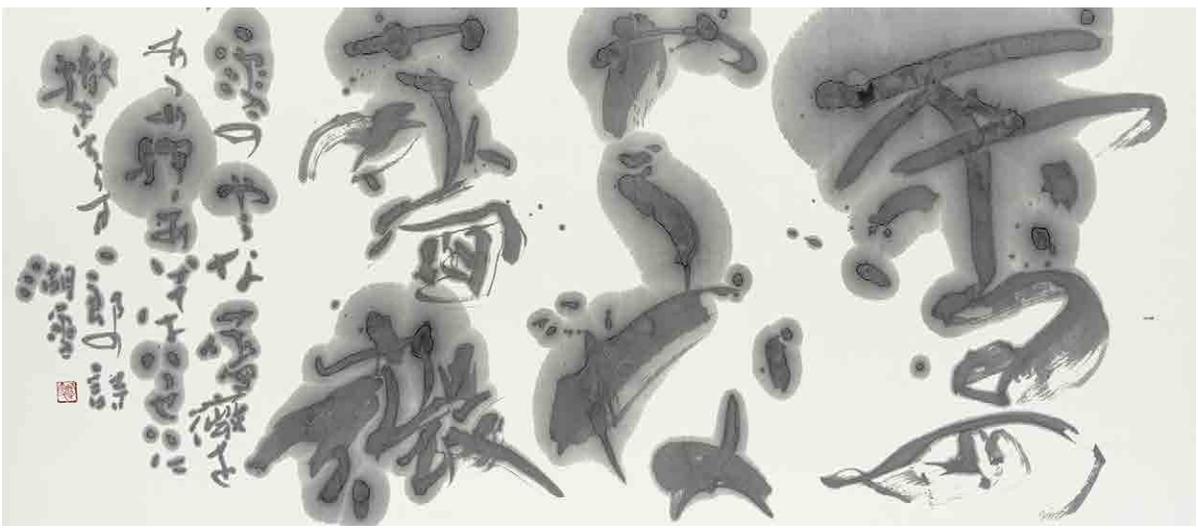
教育委員会賞



日本画　▶
「小さな背中」
島　村　　旭



◀ 洋画
「市場の情景」
浜　谷　真知子



▲ 書
「ある心の風景」
合　木　湖　雪

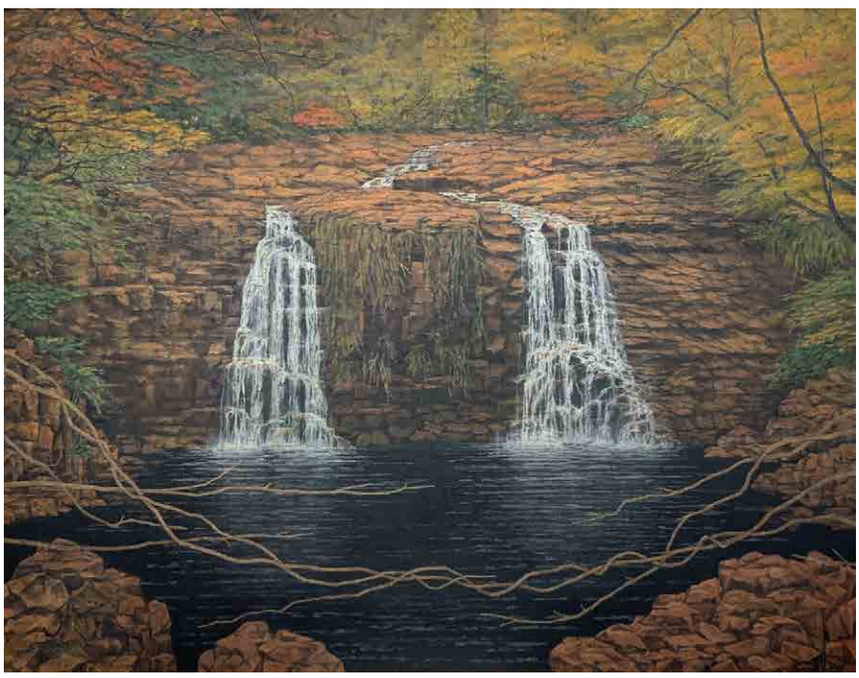


▲ 彫塑工芸
「鳳凰 寿ぎ」
野　崎　真千代



▲ 写真
「神宿る」
丹　羽　利　男

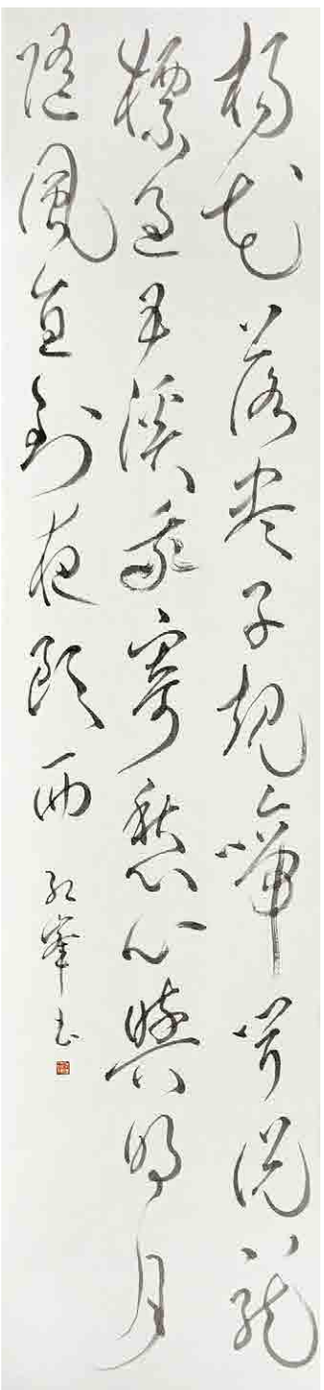
市議会議長賞



日本画　▶
「荷担滝」
上　村　　修



◀ 洋画
「鎮守の杜のドングリの木」
森　島　美佐子



▲ 書
「李白詩」
神　沢　紅　峯



▲ 書
「長歌游寶地　徙倚對珠林」
土　屋　嶺　雪



▲ 彫塑工芸
「青い池」
櫻　井　　茂



▲ 写真
「瞬間の輝き」
吉　村　清　子

観光コンベンション協会会長賞



▲ 日本画
「円山応挙 孔雀図 模写」
吉　野　政　男



▲ 洋画
「Sapaの朝市」
早　川　瑛　子



▲ 洋画
「薫風の途」
小笠原　広　行



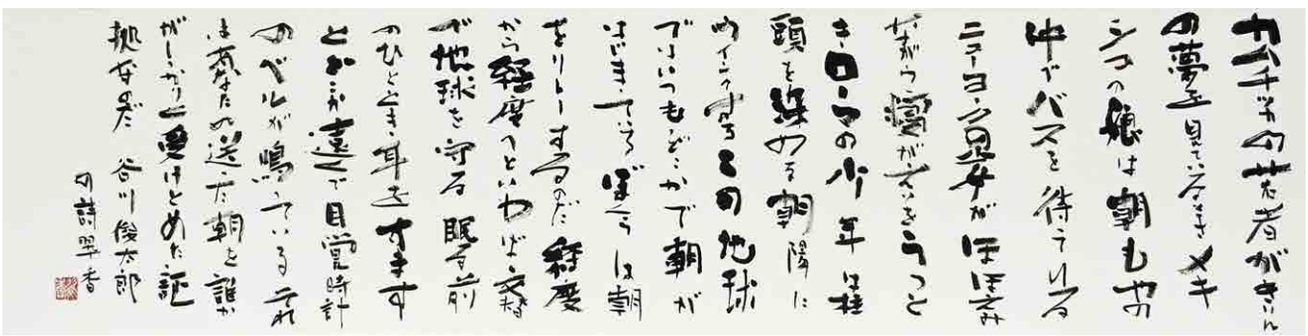
▲ 書
「山中歌Ⅳ」
山　口　真　生



▲ 書
「息」
橋　倉　詠　雪



▶ 書
「金文･保卣」
藤　田　竹　葉



▲ 書
「谷川俊太郎の詩」
吉　田　翠　香

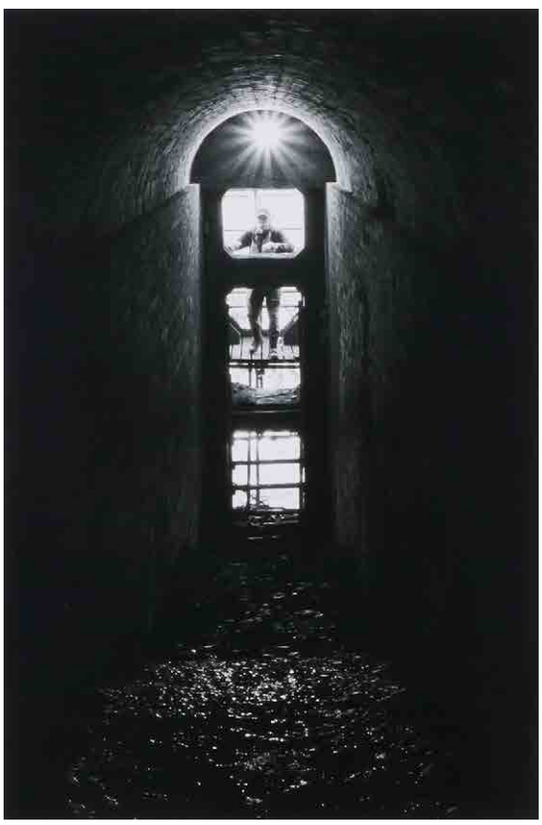


▲ 彫塑工芸
「冬の日本海」
高野　由則



◀ 写真
「田の神様」
三　輪　博　和

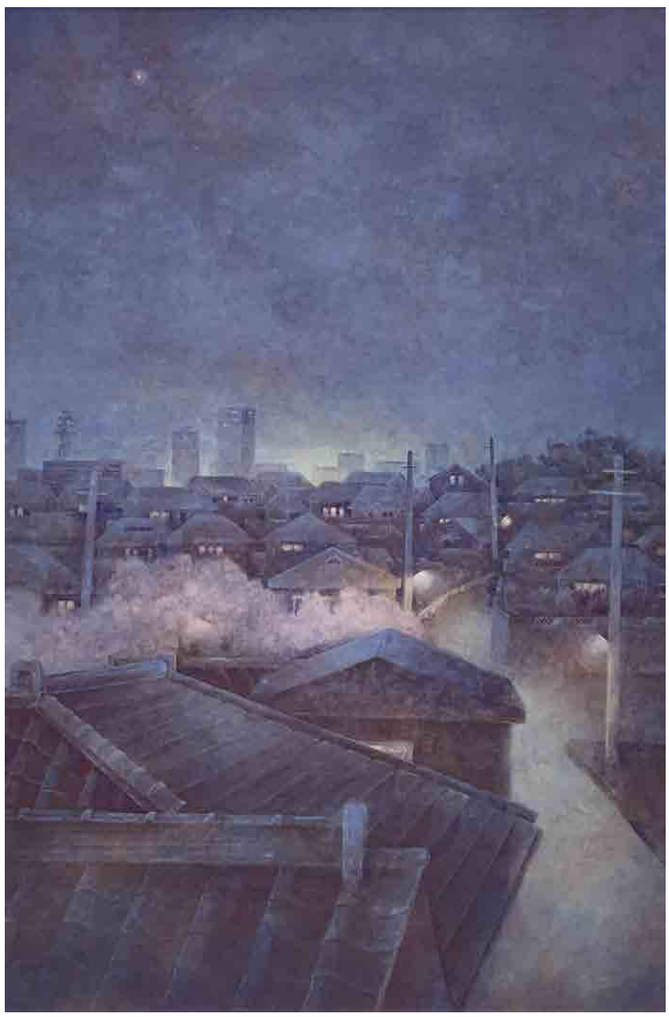
写真 ▶
「暗渠の光」
安　藤　　稔





◀ 写真
「京都の夏 祇園祭」
岡　重　桂　介

委嘱特別賞



◀ 日本画
「春の星」
棚　橋　文　代



洋画　▶
「河港の貯木場」
小　原　芳　子



▲ 書
「庚山草堂題壁」
加　藤　城　涯



▲ 写真
「雲海の鳥」
鈴　木　建　彦

特　別　賞

（五十音順）

日本画

市長賞	夏の庭先	佐伯茂明
第75回記念賞	内津の妙見さん	猪又良次
財団理事長賞	door	橋本眞知子
教育委員会賞	小さな背中	島村旭
市議会議長賞	荷担滝	上村修
観光コンベンション協会会長賞	円山応挙 孔雀図 模写	吉野政男
委嘱特別賞	春の星	棚橋文代

洋画

市長賞	上野ファーム	世古口寛子
第75回記念賞	どろんこ遊びⅠ	加納裕美
財団理事長賞	MESSAGE	金子哲
教育委員会賞	市場の情景	浜谷真知子
市議会議長賞	鎮守の杜のドングリの木	森島美佐子
観光コンベンション協会会長賞	薫風の途	小笠原広行
観光コンベンション協会会長賞	Sapaの朝市	早川瑛子
委嘱特別賞	河港の貯木場	小原芳子

書

市長賞	無題	加藤貴咲
第75回記念賞	純樸魯鈍	酒井孝
財団理事長賞	遠雷	吉田玉枝
教育委員会賞	ある心の風景	合木湖雪
市議会議長賞	李白詩	神沢紅峯
市議会議長賞	長歌游寶地 徙倚對珠林	土屋嶺雪
観光コンベンション協会会長賞	息	橋倉詠雪

書

観光コンベンション協会会長賞	金文・保卣	藤田竹葉
観光コンベンション協会会長賞	山中歌Ⅳ	山口真生
観光コンベンション協会会長賞	谷川俊太郎の詩	吉田翠香
委嘱特別賞	庚山草堂題壁	加藤城涯

彫塑工芸

市長賞	幸	土方佑恭
第75回記念賞	語彙喪失	伊藤克己
財団理事長賞	ぼくの宝もの	中山道子
教育委員会賞	鳳凰　寿ぎ	野崎真千代
市議会議長賞	青い池	櫻井茂
観光コンベンション協会会長賞	冬の日本海	高野由則

写真

市長賞	春風に奏でる	小原奈緒美
第75回記念賞	未来への砂煙	永田昭夫
財団理事長賞	夜明けのバラード	雪嶋大
教育委員会賞	神宿る	丹羽利男
市議会議長賞	瞬間の輝き	吉村清子
観光コンベンション協会会長賞	「暗渠の光」	安藤稔
観光コンベンション協会会長賞	京都の夏 祇園祭	岡重桂介
観光コンベンション協会会長賞	田の神様	三輪博和
委嘱特別賞	雲海の鳥	鈴木建彦

奨　　励　　賞

（五十音順）

日本画

伊藤典子　蒲公英

末松満里子　凪の夕景

坂野うた子　奈良 聖林寺 十一面観音菩薩立像

洋画

安藤友南　ガーデンズ バイ ザ ベイ

伊藤武臣　瓶をモチーフにした群像

岡本ちか子　ポルトガルのポルトの町の風景

川上恵子　長谷寺の思い出の風景

小林和美　休憩中（角館にて）

齋藤来羽　OKINAWA DINER

髙澤満知子　花のある暮らし

松本　弘　おジジの生き甲斐

渡辺朋子　木々の広場

書

足立恵川　馬王堆帛書

安達由佳　星めぐりの歌

伊藤寿美乃　一握の砂

小川蘭舟　張遷碑

作田紫泉　VENDANGE

鈴木碧山　忘懐楷則 窮微測妙之夫

塚本清翠　香

坪井重夫　此乃推張邁鍾之意也

野田芳樹　正子の句

堀江咲良　顔氏家廟碑

間瀬慶風　王羲之尺牘（一）行書

松野悦子　思逸神超 龍泉之利

吉田芳水　玉泉帖

彫塑工芸

樋田義正　偽・平安時代の壺

長縄善厚　陶函 染付

古野克彦　武神 関羽雲長

写真

石黒良夫　風車に願いを込めて

太田光彦　微笑み

小川洋子　視線

木村弘之　朱傘

後藤謙助　地蔵の花見

下平邦弘　水上のオブジェ

杉浦英幸　勇猛手筒

鈴木宏昭　エッ・コワァー

関　伸浩　最終コーナー

橋本　章　雪の三重塔

松永　繁　ひとりじめ

南　典男　ひと休み

高 校 生 奨 励 賞

洋　　画

加　藤　心　花　　可惜夜

彫 塑 工 芸

安　江　秀　棋　　カエルだって考える

書

燦　　夏　　王羲之 楽毅論

写　　真

安　藤　穂　香　　静寂を映す水路

入　　選

（五十音順）

日　本　画

相 内 惠 一　しらかば林
伊 藤 香 凛　大好きな食べ物
伊 藤 千 浪　博愛
榎 本 建 三　白砂の蓬莱
小 栗 和 彦　空海誕生
各 務 憲 子　一瞬の剣志
亀 井 伸 司　朝もやの味美公園
佐 倉 久 子　ナスタチウム
佐 藤 竜 也　美味しい‼
杉 村 美代子　水バショウ
杉 山 美千代　四季を感じて
高 木 哲 男　立ち木枯の木
髙 嶋 康 子　ブナ林を行く
名 倉 美由紀　飛んだ！りくりゅうペア
波多野 立 子　満月の夜
繁 昌 正 宏　大井川鉄道
松 家 節 子　早春の梅
水 谷 美江子　凛とした花 アガパンサス
森 川 麻 美　春、夏、秋、冬 のおもいで
横 内 定 子　アラブの女

洋　　画

秋 本 慎ノ介　ラナンキュラス
あけだ にちほ　これで最後
浅 野 勝 一　昭和40年頃の私の叔母さん
荒 川 義 盛　困った時の氏神さま
安 藤 智 子　Memory
石 井 仲 子　無題-1
石 川　　茜　街並み
石 原 年 男　浄瑠璃寺
伊 藤 明 子　う～ うにゃ
伊 藤　　翼　象
伊 藤 雅 之　グリーンピアの秋に遊ぶ
猪 又 英 子　向日葵
大 島　　巖　諏訪大社・下社秋宮
大 脇 宣 夫　たくさん食べて、たくさん出して!
緒 方　　隆　Border 26-7
岡 田 久 枝　もりのガーデン
小 黒 由美子　吉野桜
尾 澤 芳 子　ドライフラワーと人形
小 澤 良 子　田んぼの中の珈琲店
加 藤 砂 夫　うみどり

加 藤 正 治　記憶
加 藤 麻 穂　Tommy
河 相 優美子　華やぐ街
神 原 笑 空　群れ
熊 澤 由美子　人物
児 玉 正 博　あこがれの北斎
齊 藤　　豊　めいほう高原
佐久間 惠 子　人物A
島 貫 智 子　古代を偲ぶ
下 田 郁 代　静物
白 井 彩 子　夏色の一日
末 永 ユリ子　お気に入り
高 尾 英 美　和ろうそく職人の誇りと夢
田 屋 澄 江　子供に夢をはこぶ
辻　　一 成　おひるね
土 屋 文 秀　続く世界
寺 谷 彩 葉　ゆらり、ゆったり、悠然と
遠 山　　健　おかげ横丁
長 縄 紀 子　刻刻
長 野 恭 治　飛騨下呂萩原で見た光景
中 畑 寛 重　東大寺 国宝 日光菩薩立像

中村正之　いなか
中村みよ子　常夏の花私も暑さに負けない
中山恒忠　ボルトのある風景
奈良迫美代子　一世紀を生きて
西田智子　教会
原田　進　馨る、春の嶺風。
平野定男　巡礼
藤田釉名　ぷかぷか
堀　彩芽　夏うさぎ
堀場由美子　始まりと終わり
MACHERIYAN LIERRE　蒼天の龍(Denim×Chalk)
町野好宥　西明寺参道
松田美智子　狼
松永惠子　山を行く Ⅱ
松永美行　揺らめき
水谷寿美子　「大好きな仲間たち」
水原ハル　前世界から
宮田元恵　あじさい
村上　健　再生
村瀬貴久雄　炎の饗宴
村田恒雄　ホイアンのランタン祭り(ベトナム)
森田由美子　生命力
門馬幸子　白骨温泉(湯川の初雪)
安田百花　はるのこころ
吉見かほり　チョコミン党本部
ライオンの旅人　誓いの証
若尾一夫　陽光
渡邊愛音　黄金の先

書

相原菅雪　書譜
青木明美　岑參詩
足立莉野　岑參詩
天野瑞希　李白詩
井口佳洋　田中冬二の詩
石川真曄　たなばたさま
石黒伶音　晋祠銘
市川尚子　舟中遇霧
伊藤清翠　前田鐵之助の詩
伊藤園子　流氷
伊藤八舟　雁塔聖教序
伊藤昌文　萬物之鏡
伊藤立夏　臨 顔氏家廟碑
稲垣茉梨亜　曹全碑
今枝紫鳳　正岡子規の歌
今田春恵　常建詩
今田実佑　王昌齢詩
上原美代子　あかつきの空
臼井　照　長楽未央 天地始粛
大内久子　必有可通之理
大竹杏梨　顔氏家廟碑
大津陽樹　sumikaの詩
岡野華流　海の風景
岡本蒼生　詩神
岡本彩希　王羲之尺牘
小木曽　空　風信帖
奥村翠月　若山牧水歌
小栗舟秀　玉泉帖
小澤弘幸　百祥
落合愛菜　漢文(王安石)
落合博歩　王献之(2)草書
小野栞奈　灌頂歴名
加藤亜依　興福寺断碑
加藤敦美　星
加藤心花　王昌齢詩
加藤静香　朱熹詩
加藤碩望　曹植詩
神村瑤春　猛獣
神山昌子　七言二句
神戸千春　河東碧梧桐の句
北村栖軒　蘭亭序
木野瀬陽光　風土によせて
木全眞美子　召波の句
金　京児　宮澤賢治の詩
熊谷　渉　このしづかなる草の葉のなかに
栗木美紀子　合則流媚
小出真央　鳳凰堂
小島彩渓　秋風引
小島祥風　冬の曇る日
近藤智昭　輝
斉木富美子　集王聖教序
齋藤香音　伊都内親王願文
酒井鳴石　史晨碑
境　陽月　灌頂記
三　峯　短歌行
清水美水　蘭亭序
下村朝子　法隆寺
杉浦璃子　臨呉昌碩石鼓文
鈴木優子　王献之草書
大保春麗　啼鳥雲山静
多田祐子　伊豫の石手寺
楯　勝苑　喪乱帖
田中薫園　花映垂柳
為永真由美　有乖有合・無疆福
帖地玉虹　王羲之尺牘
土屋涼花　燕

津山栖峰　礼器碑
樋田義正　逢いたい人は異界に多し
冨永飛燕　一笑千山青
中尾柊杏　晩夏
永草紅風　渭城
中敷領立庭　太常帖
永田正毅　時和氣潤
永野龍海　臨池書学・池水盡墨
成瀬真貴子　二十億光年の孤独
西尾　司　集王聖教序
西川清苑　清貧
野口花風　山頭火の句
野口由美　應事無方
萩原清澄　香炉峰
橋傍草堂　泊歙浦
橋本紘揮　のちのおもひに 立原道造
橋本昊暉　書の韻律
長谷川あづさ　孔子廟堂碑
長谷川育子　万葉集
長谷川和音　梅花落処疑残雪
原薗孝子　孟法師碑
春野瑞希　田舎者の交響楽
坂　みゆき　楂古聿
平子正江　有爲轉變
福定美保子　奈良の春
藤井静代　晩秋
藤森彩雲　虚子の句
堀　清琴　春夜 蘇軾詩
本多しまゑ　千字文
松尾彰子　芭蕉の句
松尾颯一郎　琴の音
松原瑞穂　夏
真鍋文寧　蘭亭叙
水谷碧愛良　九成宮醴泉銘
水野琴葉　皿
水野遥風　萬壑
宮﨑紫香　逝く夏の歌
宮次珠妃　李嶠詩
三輪桂女　奉和中書舎人賈至早朝大明宮
向山　梛　賀捷表
森川愛莉　祭姪文稿
森口佳音　懐素 自叙帖
森田瑠衣　客中行
安江雅子　宮澤賢治の詩
矢野莉子　李嶠詩
藪井朝香　金文
山浦洋子　りんご
山岡清風　一笛月明何
山下さくら　楽毅論
山中峰代　夕の海
吉川春泉　間花蕪径に満ちる
吉川桜生　遠雷
吉田朱里　風信帖
吉田陽生　張玄墓誌銘
渡邉磨璃　蘭亭序

彫塑工芸

池井頼雄　太陽電池光の花と人家の明かり
荻須明彦　旅の想い出
柿原佑紀　籠る苦悩
片田芳朗　秋日和
加藤和子　還【step】
加藤雅巳　備前土沓茶盌
鎌田祐一　竹音機
河合澄雄　小鳥の標本
川上純子　古裂あっぷりけ「小野道風」
河口知子　ツワブキ
KIRIGAMI 武　紙で作ったサボテン
小林千恵美　シェイク・ザイード・グランドモスク
示崎マキ　胸像
杉本達哉　ヌプリカムイ
創作ちりめん細工 亜希　二十四節気で巡る~日本の美しい四季
田川零吉　姫路城
n i n o　低山、大谷山、
丹羽雅能　熱　投
林　孝子　芽ばえ
菱田久仁雄　面（小姫）
美頭　保　愛してやまない弥勒山
日比博子　ASSALOMUALEIKOM「あなたに平和を」
藤原秀子　愛しい花たち
松本廣行　竹形花器
miyane_san　楊名時太極拳二十四式
吉田晃子　未来へ

写　真

青木悠真　長野の日暈
足達美奈子　庭園のアオサギ
新井良介　赤いとり
荒川一正　春爛漫
有田來実　黄昏の彩
石川宜明　南京町生誕154
石黒清孝　夢はダービー
稲垣翔太　旅立ち
稲垣哲也　黄金色の笑み
梅村拓矢　赤羽の丘
大石茉奈　朱に染まらず

大場浩之　春の予感
大柳庸子　ネムの花
奥村秀則　炎の奉納
尾崎尚志　緑陰のルリタテハ
お寿司二郎　願い
小根山淑子　あの夏の夕凪
折戸秀明　ロープタワーで遊ぶ
垣内正博　ママ、待って。
笠原照雄　始発電車の入線
加島治夫　ジャンプ
片田芳朗　春うらら
加藤巳貴　鏡の向こう、今日が走る
兼浦伶欧　里山の午後
加納実呼　むらさき
鎌田祐一　赤外線で観た春日井の夜空
川口和子　花の妖精をさがして　地上で輝く虹色ブルースター
川口剛　こっち向いて
岸才紋　廻間の蛍
北川駿　いつまでも
鬼頭慶一　早春の川霧
木原凛音　白昼夢
吉柳翔博　夏の陰
久野榮次　シラスウナギ漁
熊谷良洋　蒼天翔煙
熊澤晴夫　はいっ、ポーズ！
熊野義樹　阿波踊り
こす　生命真核
後藤和雄　サーフィン
小林克子　コサギの群舞
近藤ひとし　夜桜
斉藤光代　街角のヒーロー
酒井親　白くうつくしい泰山木の花
坂口岳雄　地上の天の川
坂田百栄　一頭に駆ける想い
坂本秀明　ヨッシャ！五右衛門の心意気
澤田昌俊　親子の絆
三峯　暮色の水鏡
信濃喜六　新雪の里山
柴田文男　ぬくもりの気配
白井彩子　波紋のゆくえ
しんすけ　古寺の庭
杉村靖之　時
鈴木一弘　夕暮れ雲海
青嵐　蒼穹のかけら
田中音寧　花の色
田村元雄　漁を終えて
ちかりん　夕空彩花
千葉昭二　日の名残り
千葉昌平　想い
冨田雅巳　定光寺廃線跡横庄内川のオシドリたち
仲井由美子　待ちぼうけ
長田歩　休憩所
中村和夫　宵桜
名倉進　信州の一本桜
波多野咲枝　蒼天へ伸びる命
波多野豊子　彩の小径
波多野肇　出合い亀
平澤孝允　天龍村にブッポウソウが舞う
弘斗　ハートの紫陽花
藤井孝顕　春のなごみ
藤川清治　ナイスキャッチ
古田修　秋をいざなふ
ブロッコ・リー　神秘
堀内英昭　サンセット
堀内政子　ふゆう
堀場創太　月夜、桜。
本郷智之　どこへ行くの
前川敦哉　静かな時間
前村嘉治　いいこと　ありそう
真木美知子　忍者
松井恭子　茜色の朝
まるふぉい　紫陽花
水野一郎　宵祭へ
宮内憲一　タマズメ
宮城ナタリア　無人の涼風
村田正美　天空の城
森幹雄　信濃の春
山内直樹　梅が香
山岸武久　道樹山麓
山口勝　波紋
山田直幸　さくらまつり
吉澤凛羅　小川から見つめる
吉田勝志　収穫へ備える
吉田公昭　栄光への道
米澤宗佑　テイクオフ・ラン
りょうた　十四光年の憧憬
るんぺん　希望の花
脇田順子　愛を育む
渡辺裕人　目が合えば、春。
渡辺琉世　ひとやすみ

無　　鑑　　査　（出品者のみ、五十音順）

日本画

飯尾博明	待つ
上村　修	荷担滝
佐伯茂明	夏の庭先
島村　旭	小さな背中
武内喜代子	うさぎと少女
橋本眞知子	door
舟渡悦夫	段々の風から
山田憲子	梵天の滝

洋画

老本貴美枝	アーティチョーク
小笠原広行	薫風の途
加藤千恵子	収穫
神戸健志	丹後伊根好日
佐藤百合子	羽根帽子
鈴木良昭	新湊　内川
棚瀬真理	「群・gun」
橋本　進	漁を終えて
浜谷真知子	市場の情景
早川瑛子	Sapaの朝市
深山百合子	新緑
水野幸子	旅の想い出
森島美佐子	鎮守の杜のドングリの木

書

伊藤翠月	自叙帖
伊藤柳香	風桜
上田清楓	李白詩
大橋幽径	燕と時計
岡田雪魚	天発神讖碑
小川華舟	乱
鹿倉清葉	故園
笠木柏舟	はたらくくるま
梶田汀雨	帰郷
梶田夕貴	頑是ない歌
加藤貴咲	無題
加藤佳茜	王献之
加藤紅曄	白秋の詩
亀田橋河	書譜
川合碩山	陳子昂詩
河地一舟	李嶠詩
河地柳玉	曹全碑
工藤雅恵	鶯帰樹頂繁聲轉
國定景風	花映垂柳漢
九野恭葩	新柳
小島　徹	ある夏の日に
五藤しのぶ	木馬館
小林渓翠	李嶠詩
小林恵風	魂の躍動
古家野慧宇	紫閣峰
酒井耕雲	春行寄興
重見梢玉	王将のように
柴田美保	真珠貝「与謝野晶子詩歌集」より
清水竹水	魯孝王刻石
鈴木春葉	ルイーズ・グリュックの詩
髙倉佳風	朝陽
髙山紅雪	臨池之志

竜田春蘭　杜甫詩
谷利紫鳳　橋本多佳子の句
豊田玉葉　七言二句
長縄桃李　木簡
永見沙香　星河不動天如水
西山美翔　宿裴氏山荘
仁部巒琇　与謝野晶子の詩
野中游園　荊叔詩
野々川翠扇　七言二句
萩原由希子　花
羽柴苔谷　金星
林　泰伯　馬車の出発の歌
原　三篁　王献之
菱川　武　奔雷墜石・極慮專精
平野智山　本田攝子の句
藤縄昌江　清風
古川智貴　鐵橋にて
古橋篤和　石鼓文
堀　洋子　瀬戸内海
松田玲花　奉對帖
宮田澄希　金文
山田清翠　良寛詩
山田素花　潘存臨鄭文公下碑
横井光城　聖果寺
吉岡翠谷　郷愁

彫塑工芸

伊藤克己　語彙喪失
大竹惠子　祈り
奥村日出夫　ねこ
小倉せい子　小川の散歩道
鈴木善之　三友籠
町野好宥　子供の頃の思い出

写真

石井啓喬　雪ふる里
市原淳宏　疾風
伊藤智広　SWAN
伊藤　護　軍艦島夕景
岡重桂介　京都の夏　祇園祭
神戸敏文　勇　猛　果　敢
永田昭夫　未来への砂煙
中村春喜　花筏
林　柾樹　寄らば大樹の陰
平田重模　継承の焔
藤田文夫　凍てる池
古田恵美子　春のひととき
松永昭弘　揺らめく波紋
松本唯明　古刹・秋麗
森本　修　静寂の刻
山田　徹　凄技
雪嶋　大　夜明けのバラード
吉村清子　瞬間の輝き

委嘱　（出品者のみ、五十音順）

日本画

奥村　日出夫	荒木寛畝 懸巣 模写
瀧　日勝子	花しょうぶ
棚橋　文代	春の星
坪井　勇	はい！ポーズ
冨永　美千代	華
山下　勝一	天空の杉

洋画

伊藤　泉	芍薬
大泉　雄一	暮れる
大橋　豊	朝の陽光
奥村　進	あずみの春景
小原　芳子	河港の貯木場
加藤　祝章	合掌村
加藤　美代子	ボタン
黒原　すみえ	内なる貌
佐藤　早和子	庭園秋景
白鳥　喜代司	厳粛
鈴木　英機	家並み風景
田邉　陸男	内々神社
西島　正人	窯場
松岡　弘美	秋色
山本　英之	蓮

書

伊藤　芳華	小詩国
宇野　光峰	祭姪稿
小幡　豊園	興福寺断碑
加藤　城涯	庚山草堂題壁
小林　京苑	高野切第二種
代田　美泉	飄
鈴木　美月	えつこの詩
藤田　香志	楽毅論　光明皇后
山川　桂花	芭蕉の句
山本　康二	臨･敦煌漢簡
横井　吟虹	深谷雄大の句

彫塑工芸

伊藤　時子	朝の散歩道（Ⅱ）
打田　世道	七宝“花器”
舘内　圭子	日差し
棚橋　繁	海賊船
塚本　将慈	安らぎ Ⅲ
西口　昭雄	青い教会
八木　宏美	孔雀
安江　勝夫	不動明王と二大童子

写真

大嶋　和美	麦秋の光
榊原　司	花笠の舞
坂本　進	畦に咲く
鈴木　建彦	雲海の鳥
外勢　肇	なかよし
中西　眞二	火踊り
西井　忠義	望み達成
村里　茂延	夜明の湖畔
森田　和生	朝げいこ

市民美術展覧会審査会員

（順不同）

日本画

	安達英志郎	ムーン
故	森脇仁士	市民の誓い（ポスター原画）
	浅野忠	戸隠
	鈴木淳子	pure
	瀧下尚久	忿怒
	加藤洋一朗	朝の公園
	芝康弘	五月の風に

洋画

	奥村浩康	壺
	小林笑子	夏の夕暮れ
	小林俊明	新しい街のあった頃
	塚田譲	白馬青鬼の里
	新井直子	廃屋に残された井戸（常滑）
	兼忠志	氷柱・ストップ温暖化
	新美晢也	時の中

書

	中村立強	戯
	藤田金治	迅
	長谷川秀谷	荘子（大宗師篇）
	石黒柏葉	津軽のふるさと
	後藤幽泉	天馬
	安達柏亭	松居遊見叟碑
	橋詰桃邨	論語述而
	日比野桃花	臨 王羲之尺牘
	武内峰敏	幽華の句
	川本赫汀	猫唄
	原田凍谷	武藤あい子の句
	長谷川清城	静
	山川昌泉	五言二句 王維の一節
	梶田文宗	天上天下唯我独尊
	後藤抱琴	千鳥と遊ぶ智恵子
	津田松鶴	夜に
	鈴木香萩	無題
	三島濟美	堤
	伊藤井翠	半山残月落華冷
	川本大幽	正岡子規の句
	落合棲谷	－
	河地栖雲	開通褒斜道刻石
	小山峯雲	－
	永瀬紅蘭	甲子雄の句
	松本盈真	雲開千里月
	小坂克子	家有藏書墨華香遠・嘉言納福
	鈴木凍山	茂吉のうた
	今井芝香	久女の句
	鵜飼冠山	毬
	神戸春谷	伊藤左千夫の歌

彫塑工芸

	高橋佐門	灰釉俵壷
	柴田明	有線七宝抽象文花器
	河村佳則	torso
	伊藤典子	SO宙RA-和合
	丹羽萌	月明かり

写真

	伊藤滋	母子
	安藤宏幸	なかよし
	奥村克己	彼岸の頃
	丹羽省吾	まつりの寸景

審　査　講　評

日 本 画

今回の日本画部門は、一般25名、無鑑査8名、委嘱6名、審査会員７名の合計46名の出品がありました。日本画、水墨画と大作も交えた見応えのある作品が並び、審査会では公平な審査が行われました。細部まで完成度の高い作品の中で、入賞された方々の作品は技術の高さだけではなく、作者が作品を通して伝えたいことが、観る側の心に残る作品が多かったように感じました。

市長賞：「夏の庭先」佐伯茂明さん……一見すると植物画のようですが、視線はしゃがみ込む子どもへ導かれ、そして子どもの視線の先には庭先で見つけたトカゲがおり、観る人もそこへ目を向ける構成が巧みです。画面の多くを植物で埋めることで夏の庭に入り込んだ没入感と子どもだけの小さな世界が出来ています。植物の描き分けも色数が多い中まとまっており色彩構成力も優れています。

第75回記念賞：「内津の妙見さん」猪又良次さん……モダンな表現で柱の交差、梁、天井の格子が複雑に入り組む場面に作者の観察力と構成力を感じる作品です。特に龍や獅子の木彫の色彩表現は全体を茶系で統一しながら青緑色がアクセントとなり、画面に品格があり日本画らしい落ち着きがあります。

財団理事長賞：「door」橋本眞知子さん……格子状に並んだ円形文様が画面の多くを構成するこの構図は、豊かな色彩によって単調にならず、ガラス越しの表現は光によって格子の向こうにある時間や空気を描いていて、鑑賞者に解釈を委ねられているような魅力があります。

教育委員会賞：「小さな背中」島村旭さん……小さな子どもが雨上がりの石畳を歩く後ろ姿だけで、水たまりが楽しいのかな？初めて雨の日なのかな？と見る人に想像させる構成が秀逸です。遠景の表現が控えめなので画面上部がやや広く余白を感じますが、この作品では伝えたいことが明確に見え効果的に働いているように感じます。

市議会議長賞：「荷担滝」上村修さん……左右の滝を中心に据えた構成は安定感があり、岩の割れ目や層の重なりが丁寧に描き分けられた表現は確かな写実力が際立っています。完成度が高い一方で、均等に丁寧に描かれているために印象が均質に感じられるため、この風景のどこに心を動かされたのか、を光や空気、時間帯などでより強く表現することが作品の個性をさらに際立たせるポイントになると感じました。

観光コンベンション協会会長賞：「円山応挙　孔雀図模写」吉野政男さん……今回初めて模写での入賞となったこの作品は、高い観察力と応挙の描き方を学ぼうとした姿勢が伝わってきます。尾羽の表現は眼状紋が一つ一つ丁寧に描かれ、色の重なりも自然です。

委嘱特別賞：「春の星」棚橋文代さん……青紫の色調で統一され、夜の湿度や静けさ、春を感じさせる桜の表現など色彩、構図、空気感が調和した、何気ない風景を題材にしながら見る側を作品世界へ引き込む魅力があります。

奨励賞：「蒲公英」伊藤典子さん……植物の観察が非常に丁寧で背景との色の調和も美しいです。「奈良　聖林寺十一面観音菩薩立像」坂野うた子さん……金を黒地に映えさせる構成が美しく静かな気品があります。「凪の夕景」末松満里子さん…水面の光の時間を感じる表現が美しく遠近感も自然です。

技術ももちろん大切ですが、描く楽しみ、作者の視点が伝わるようにするとより作品に魅力が出て作品の格が上がる気がします。次回も楽しみにしています。

＜日本画部門審査会員　鈴木　淳子＞

洋　　画

今年の出品点数は117点で油彩作品と水彩画作品以外にパステル、色鉛筆、アクリル、H鉛筆、B鉛筆を使ったデッサン、ボールペンといろいろな作品がありました。

100号の大作もあり、しっかりした見ごたえのある作品が多くありました。

市長賞に選ばれた世古口寛子さんの「上野ファーム」は写実的にしっかり描かれているのみならず、情景描写がたくみにとらえられています。又、光の取り扱いがたくみです。

第75回記念賞 加納裕美さんの「どろんこ遊びⅠ」は生き生きとした子供達の表情が個性的に表現されています。

財団理事長賞 金子哲さんの「MESSAGE」は水彩画の力作です。現在の戦争と平和の世界を描いており、水彩の色彩が美しく描かれています。

教育委員会賞 浜谷真知子さんの「市場の情景」はおばあさんの表情がよく描かれており、売っている品物の新鮮な魚とカニがよく見えていて、ほほえましい作品となりました。

市議会議長賞 森島美佐子さんの「鎮守の杜のドングリの木」は水彩とパステルで描かれていて、大木が迫力があり、又、バックと木の距離感がよく描かれています。太い大木の根が生々としてあたかも地球をつかまえている感じがします。

観光コンベンション協会会長賞 早川瑛子さんの「Sapaの朝市」は朝市の様子がていねいに描かれています。人物もしっかり描かれており、特にエキゾチックな女性が描かれています。

観光コンベンション協会会長賞 小笠原広行さんの「薫風の途」は木版画です。橋を渡る女性の姿を描いているのみならず、森林と川の表現に膨大な時間がかかっており、神経がいき届いている木版画です。

高校生奨励賞 加藤心花さんの「可惜夜」の絵はアクリルで描かれており、不思議であやしげな雰囲気が感じられます。

一般出品作品の中には力強い魅力のある作品がたくさんあり、奨励賞の予定数を超える候補が出ましたので、賞からもれた作品が数点ありました。

毎年自分なりのテーマを追求している作品があります。その姿勢が作品に深みを増しています。又、自分にあった画材を使ってみるのも絵の楽しみの一つです。

又、美術館での公募作品を見にお出かけになるのも視野が広がると思います。各美術館で開催される有名画家の絵を見るのも楽しい事ではないでしょうか。

来年も是非春日井市民展に数多くの方が出品される事を願っております。

＜洋画部門審査会員　新井　直子＞

書

1948年の日本美術展覧会（日展）第5科として「書の部」が創設された。

当時は「漢字」・「仮名」・「篆刻」の3部門だけであったが、書道が広く美術として認められたものと言える。その後「少字数書」・「前衛」と「近代詩文書」が加わり現在に至る。

またこれに先立ち春日井市民美術展覧会（市民展）が、1945年開始された。

80年余りが経過し、一時の書道ブームは影を潜め10年前に比べ出展者は70％に減っている。何とか若い層の関心を高めようと高校生奨励賞を設け、盛り返しを図っている現状である。

書道は、2021年「筆や墨、硯、紙などの用具用材を用いて、伝統的な筆遣いや技法の下に、手書きする文字表現の行為」として国の無形文化財となった。本年秋にはユネスコの無形文化遺産登録をめざしている。

さて、今年の出品数は総数240点、一般144点（内高校生26点）、無鑑査57点、委嘱11点、審査員参考作品28点である。

公開審査で実施することとし、当番審査員12名によりま

ず誤字の有無の確認から始めた。

委嘱特別賞は加藤城涯さんの漢字作品が選ばれた。陳文述の「庚山草堂題壁」を手慣れた草書で、文字の大小もうまくはまり、さすがという感じ。

市長賞は加藤貴咲さんの近代詩文書。尾崎喜八の詩「秋風に朝の空行く赤とんぼ」を濃墨で大字と小字を組み合わせ、さらに潤渇による変化をつけ歯切れのよい作品となっている。

第75回記念賞は酒井孝さんの篆刻「純樸魯鈍」が獲得した。本文もさることながら側款も見事にはまっており、見ごたえのある作品となっている。

財団理事長賞は吉田玉枝さんの「遠雷」が選ばれた。これまた近代詩文書で長鋒の柔毛筆を駆使し、シャープな線質で印象的な作品となった。

教育委員会賞は合木湖雪さんの「ある心の風景」という近代詩文書。竹村俊郎の詩と思われるが、淡墨のにじみを生かした余白のきれいな作品に仕上がっている。

市議会議長賞には2点選ばれた。2点とも漢字多字数書で、神沢紅峯さんは李白の七言絶句を淡墨で気負うところなく柔らかに表現している。

土屋嶺雪さんは直線を生かした歯切れのよい作品で，長歌游寶地と書き出している。紙面全体に調和がとれ素晴らしい。

春日井市では小学校の書写教育に対し、書道課特例校を設け15年以上になるが、着実に効果を得ていると思われる。ITの普及がますます書離れを引き起こすのではないかとの危惧を払拭したいものである。

＜書部門審査会員　松本　盈真＞

彫塑工芸

今年度の応募作品は前年度を下まわり54点でありました。

本年は第75回記念という特別賞も加えられて作品総数は減少したものの意欲を持って出品されたと思います。

市長賞を受賞された土方佑恭さんの「幸」は石粉粘土で制作された甲殻類の動物であります。粘土で制作された非常にリアルで表面に触れて見たくなる様な感想を持ちました。市長賞にふさわしい作品であると思います。

第75回記念賞を受賞された伊藤克己さんの「語彙喪失」。無鑑査でもあり、トンボとカマキリが木製の細い細工で表現されており絶妙な構成で楽しさと微笑ましさを与えていただける秀作であります。

財団理事長賞 中山道子さんの「ぼくの宝もの」は人形で子供をモチーフにした楽しい様子が伝わる力作であります。

教育委員会賞 野崎真千代さんの、「鳳凰 寿ぎ」。七宝は高度な技術を習得され表現にもすばらしさを感じられる秀作であります。

市議会議長賞 櫻井茂さんの「青い池」は平面作品ではありますが、木々がそれぞれ立体的に重なって表現されている湖畔の風景であろうか鑑賞する者にも景色の様子が伝わってくる感想を抱かせる作品であります。

観光コンベンション協会会長賞 高野由則さんの「冬の日本海」。木板に焼きコテの様な道具を使用して絶妙な力加減で焼いていき制作された作品であると思います。技術もあり、作品から水の流れの迫力も伝わってくる力作であります。

奨励賞を受賞された皆様もそれぞれ技術を習得され、思いをこめて制作された労作であります。

本年度は彫塑工芸部門に高校生の出品があり、非常にうれしく思いました。

高校生奨励賞 安江秀棋さんの「カエルだって考える」は賞にふさわしい立派な作品であると思います。口を開けているカエルでしょうか。とてもユーモラスな楽しくなる作品であります。

今年の市民展は出品数は減少しましたが、多岐に渡る素

材、技術の数々を皆様が十分に発揮され、個性豊かな感性と努力で制作された作品にお目にかかれて大変うれしく感じております。

彫刻工芸には熟練した技術を習得しなければならないというハードルもありますが、反面、独自の制作方法、素材の選択を考えられて発表できるという利点もございます。ぜひ様々な角度から面白くユニークで斬新な応募がいただければと思います。

最後になりましたが、来年度も更なる充実した展示となりますよう、多くの皆様のご参加を心よりお持ちしております。

＜彫塑工芸部門審査会員　河村　佳則＞

写　真

第75回目となる今回の市民美術展は、前回より一般の応募者が17名増、高校生が6名増、無鑑査は3名減、委嘱は2名増となりました。全体として応募点数の増加は喜ばしいことです。作品も多様で面白く感じました。目を引く作品は狙いが明確で、色彩、コントラストも適切に仕上げられています。特別賞や奨励賞の作品を見て、今後の作品作りの参考にしていただければと思います。

市長賞「春風に奏でる」小原奈緒美さんの作品は、一輪のネモフィラを捉えたものですが、背景のグラデーションが美しくネモフィラを包み込んでいるように感じます。画面上にネモフィラを効果的に配した構図も良く、プリント用紙の選択も適切で、清楚なネモフィラの表現に好感が持てます。

第75回記念賞「未来への砂煙」永田昭夫さんの作品は、光の状況が良く的確なトリミングとモノトーンで仕上げたプリントが功を奏し、印象的な作品に仕上がっています。

財団理事長賞「夜明けのバラード」雪嶋大さんの作品は、夜明けのハス田でこれから咲こうとするハス一輪を主役にすえ、ハス田の静寂さがしっかりと伝わってきます。

教育委員会賞「神宿る」丹羽利男さんの作品は、大きなしだれ桜でしょうか、青味溢れる色調とソフトなトーンがもたらす幽玄な世界が目を引きました。画面下部に写し込まれた鳥居も効果的です。

市議会議長賞「瞬間の輝き」吉村清子さんの作品は、カワセミに捉えられた小魚から飛び散る滴がうまく写し撮られており、シンプルな背景のおかげもあって面白い映像効果がもたらされています。

観光コンベンション協会会長賞「京都の夏　祇園祭」岡重桂介さんの作品は、京都三大祭りの一つ祇園祭の場面です。後ろ姿ですが画面手前右側の舞妓さんは、祇園祭の期間中に年長の舞妓さんに許された髪型「勝山」で、細部まで祇園祭にこだわった表現が光る作品です。

同賞「暗渠の光」安藤稔さんの作品は、モノトーンですがシャドーの表現が巧みで、画面上部の光状も効果的で、異質な雰囲気がうまく表現されています。

同賞「田の神様」三輪博和さんの作品は、棚田で行われた神事の模様ですが、水田への写り込みもクリアで、里山の素朴な営みの一場面がうまく捉えられています。

委嘱特別賞「雲海の鳥」鈴木建彦さんの作品は、雲海と植物の緑を巧みにグラデーション豊かな背景に仕立て、鳥の姿が精緻に捉えられています。

高校生奨励賞「静寂を映す水路」安藤穂香さんの作品は、水路に並ぶ古い佇まいとゆるやかに流れる水路の醸し出すどこか懐かしい雰囲気が、素直に捉えられています。構図も良く奥行きのあるオーソドックスな表現が目にとまりました。

＜写真部門審査会員　丹羽　省吾＞

応 募 点 数

		日本画	洋画	書	彫塑工芸	写真	合　計
応募搬入点数	①一般	25	82	144	35	119	405
	（うち高校生）	(0)	(9)	(26)	(1)	(12)	(48)
	②無鑑査	8	13	57	6	18	102
	小 計（①＋②）	33	95	201	41	137	507
③委嘱		6	15	11	8	9	49
④審査会員参考作品		7	7	28	5	4	51
合　計（①＋②＋③＋④）		46	117	240	54	150	607

審査結果内訳

		日本画	洋画	書	彫塑工芸	写真	合　計
特別賞（①一般、②無鑑査より選考）	市長賞	1	1	1	1	1	5
	第75回記念賞	1	1	1	1	1	5
	財団理事長賞	1	1	1	1	1	5
	教育委員会賞	1	1	1	1	1	5
	市議会議長賞	1	1	2	1	1	6
	観光コンベンション協会会長賞	1	2	4	1	3	11
	合　計	6	7	10	6	8	37
奨励賞（①一般より選考）		3	9	13	3	12	40
高校生奨励賞		0	1	1	1	1	4
入選		20	69	121	26	101	337
選外		0	0	0	0	1	1
委嘱特別賞（③委嘱より選考）		1	1	1	0	1	4

	日本画	洋画	書	彫塑工芸	写真	合　計
展示数合計	46	117	240	54	149	606

第75回記念 春日井市民美術展覧会入賞者名簿
令和８年８月発行

編集：公益財団法人かすがい市民文化財団
発行：春日井市

〒486-0844 春日井市鳥居松町5−44
公益財団法人かすがい市民文化財団　電話(0568)85−6868

審査員解説（ギャラリートーク）日程表

市民展審査会員が特別賞作品等の作品解説を行います。ぜひお立ち寄りください。

部　門	会　場	8/15(土)	8/16(日)	8/22(土)	8/23(日)
日本画	文化フォーラム春日井 ギャラリー				▶14:00 瀧下尚久 鈴木淳子
洋　画	市役所11階	▶10:30 新井直子		▶11:00 新井直子	▶14:00 兼　忠志
書	文化フォーラム春日井 交流アトリウム	▶10:30 武内峰敏	▶11:00 原田凍谷	▶10:00 三島濟美	▶13:30 後藤抱琴
写　真	市役所12階	▶10:30 伊藤　滋	▶10:00 丹羽省吾	▶11:00 安藤宏幸	▶13:30 奥村克己

※「彫塑工芸部門」の審査員解説はございません。
※ 都合により会場・時間・解説者などは変更する場合があります。

春日井市民美術展覧会　資格について

「春日井市民美術展覧会規約　細則に関する事項」より

【審査会員】　次に掲げる者のうちから役員会で決め、春日井市長が委嘱する

1 市内在住、在勤又は春日井市に貢献のある美術作家で現に活躍し、相当の地位にある者

2 市民展に功績のある者

【委 嘱 者】　**1** 本展覧会において市長賞を２回、若しくは市長賞を１回と財団理事長賞・教育委員会賞・市議会議長賞・観光コンベンション協会会長賞・記念賞のいずれかを２回受賞した者

2 市民展審査会員会で推薦した者

【無鑑査者】　**1** 本展覧会において市長賞を１回、若しくは財団理事長賞・教育委員会賞・市議会議長賞・観光コンベンション協会会長賞・記念賞のいずれかを２回受賞した者

2 市民展審査会員会で推薦した者

【資格喪失】　２年連続して出品のない場合、その資格を失うことがある。